

松里公民館だより No 1 1

令和3年 2月

先日、新年を迎えたばかりなのにもうひと月が経ちました。今年は丑年なので、慌てず着実に一步一步物事に取り組んでいきたいと思います。

さて、丑年の「丑」は中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の字になったようです。

「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前触れ(芽が出る)」を表す年になると言われています。

昨年から、コロナウイルスにより、我慢し耐えることが強いられています。松里公民館でも、4月以降には独自のイベントが行われずにいます。また、1月に行われていた「藤木道祖神祭太鼓乗り」をはじめ、「きっかんじ(きっかんじょ)」や「どんど焼き」も中止になった地域がありました。

そんな我慢する時を利用し、今だからからできる事や、今後新しく始めたいことを考えていきましょう。

こんな時だからこそ、みんなが協力し地域がまとまることができたら良いなと思っています。今年もコロナに負けず、頑張りましょう。



↑ 玄関の飾りです ↑

松里を綺麗にしましょう

最近、ゴミや缶・ペットボトルや犬の排泄物が道路に落ちているのを見かけます。先日は公民館の入り口にも、見事な排泄物が残されていました。公民館は、地域の人々が利用するばかりでなく、児童クラブも併設されていて、多くの小学生が毎日利用しています。ひとりひとりが、ちょっとした気遣いと手間を掛けることで、松里が気持ちよく住みやすい地域になっていきます。私たちが住む松里を、綺麗にしていきたいと思います。

また、公民館玄関付近に駐車される方がいます。以前からお願いしていることですが、玄関付近は大変狭いため、出入りする利用者や児童クラブの子どもたちの交通事故等も心配されます。公民館を利用される方も市の駐車場を利用してください。



↑正月には門松がありました↑



こんな張り紙のいない松里にしたいですね

※公民館の使用について

今年に入り、コロナの感染者が急増しています。感染防止対策をしっかりとることにより、そのリスクを下げるすることができます。引き続きコロナ感染防止対策を、よろしくお願いします。

松里公民館 館長 飯島 節生
主事 小宮山茂樹